

庁舎整備特別委員会 審査報告

今定例会では、庁舎整備にかかわる事務の調査を行い、当局から、基本設計の検討状況及び今後の事業スケジュール(案)について報告がありました。主な質疑に対する答弁の概要は、次のとおりです。

【延べ床面積及び事業費の考え方】市民の動線や待合スペース等を考慮した結果、共有スペースが基本計画で想定した面積よりもふえ、延べ床面積も大きくなった。延べ床面積がふえても、庁舎に必要な機能は、しっかりと整備しなければならぬと考えているが、庁舎整備の基本理念である「コンパクトで多機能な庁舎」を実現するため、さらに検討を行っている。

【食堂が庁舎内に設置されていない理由等】設計者よりカフェ・レストラン設置の提案があったことから、これまで検討を行ってきたが、他市の例を見ても、食堂などの経営状況は厳しいこと、さらに庁舎周辺の飲食店を活用してもらうことで中心市街地の活性化につなげたいと考え、庁舎内には食堂等は設置しないことにした。その代替手段として、市民向けには、自動販売機等を設置し、自由に活用できる市民交流スペース

を、職員向けには、休憩室や多目的に使用できる会議室を設置し、活用してもらいたいと考えている。

【駐車場への進入路となっている旧湊城第二小学校南側市道の拡幅】この道路脇には、立派なケヤキの木や桜の木があり、こうした樹木をできるだけ保存しながら庁舎整備を行うこととしているため、道路の拡幅は困難である。車の案内、誘導方法を検討し、安全を確保したい。

【市長室や各部署の配置】第1庁舎及び新庁舎への部署の配置については、基本計画において方針を定め、それに基づき、配置をしている。市長室は第1庁舎に配置しているが、同庁舎と新庁舎は渡り廊下等により行き来が可能であり、できるだけ来庁者には不便をかけないよう配慮している。また、各部署の配置については、窓口への来庁者数や、その待合スペースなどを考慮して考えているが、さらに検討を行う。

【本市の木材製品の活用とPR】木材の活用は、今回の庁舎整備の一つのテーマであり、設計者からも提案があったほか、関係団体からの要望もある。できるだけ本市のすぐれた木材加工技術を取り入れたいと考えており、この後の設計で検討したい。



庁舎整備特別委員会行政視察報告

◆視察月日 10月15日～17日

◆視察市 神奈川県 平塚市
山梨県 甲府市

視察研修概要

平塚市の新庁舎については、平成28年度の全面供用開始を目指し、現在、1期工事が盛んに行われている。甲府市の新庁舎は、本年3月に完成し、5月より供用開始されている。

また、本市庁舎の設計者が設計した藤沢市の複合ビル「湘南C文ココテラス湘南」も見学させてもらった。

(災害時の対応)

両市とも、免震構造を採用していた。庁舎は、一時避難所としては考えているものの、避難所としての位置づけはしていないとのことであったが、災害対策本部としての機能や備蓄については、それぞれ配慮されており、甲府市では、庁舎敷地内にマンホールトイレ用の設備が準備されていた。

(窓口サービス)

ワンストップサービスは、事務処理に時間を要する客と短時間で済む客が混在するため効率が悪いため、窓口をできるだけワンフロアに集め、案内係が丁寧に案内するという手法

をとっていた。

(食堂等)

平塚市は、レストランを設置し、市民にも利用してもらうことを計画していた。甲府市の場合は、庁舎が中心市街地に位置しているため、その活性化に配慮し、10階の議場の周りを展望ロビーとして午後9時30分まで解放しているほか、1階の市民プラザも同様に解放していた。一方で、何もかも市役所に集約していいのかという議論があり、中心市街地への消費を促すため、食堂は設置せず、コンビニがあるのみであった。

(市の特色の反映)

両市とも、外観は市の特色などに配慮していた。また、甲府市は、市有林を多く所有しており、その木材を加工し、窓口のカウンターやベンチなどに、工夫を凝らして活用していた。



甲府市役所前にて